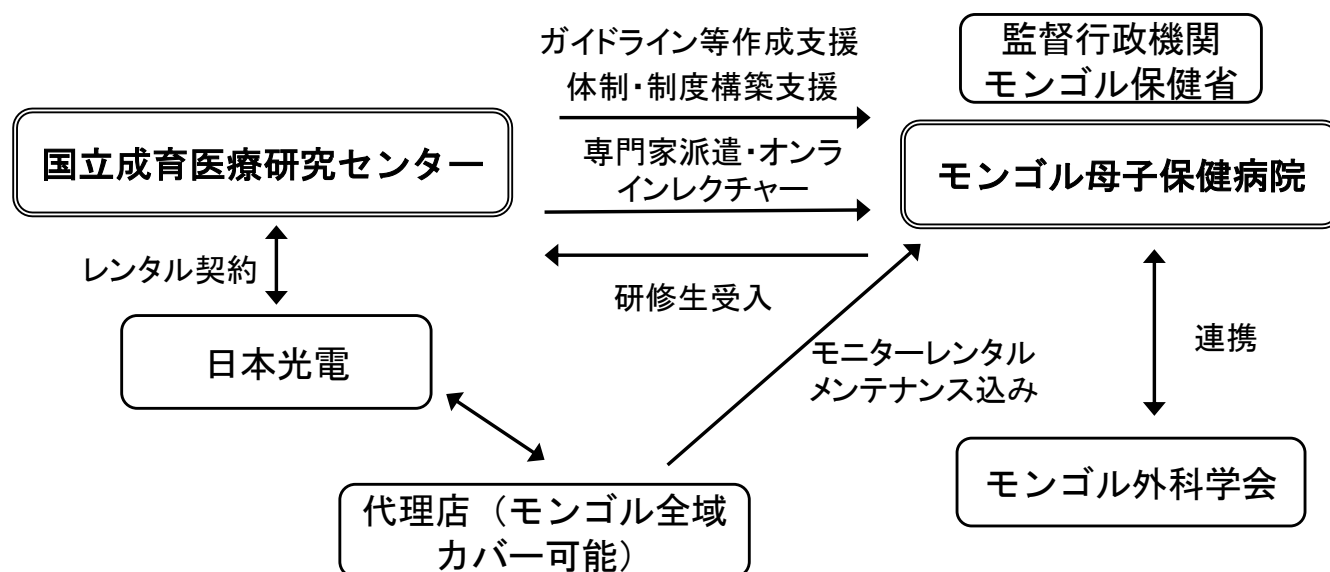


## モンゴル国の小児外科/麻酔関連領域における人材育成 3年計画の2年目

1. 案件目的 小児新生児症例・重症症例・腫瘍外科症例などに対する内視鏡手術をはじめとした手術手技の技術力の強化と教育システムの導入、かつそれらの手術に対する筋弛緩モニタリング、ETC02などを用いたPALSを基礎とした麻酔周術期管理の指導、適切な医療機器のメンテナンスシステムの導入
2. 案件の概要 内視鏡外科をはじめとする小児外科手術指導、重症症例を含む麻酔周術期管理、医療機器のメンテナンスシステムの導入について、国立成育医療研究センターがモンゴル国の母子保健病院（外科・麻酔科）に対し研修を実施、モンゴル外科学会も連携しモンゴル国内に研修内容を根付かす。
3. 案件の成果、着地点 本事業で指導した内容をまとめた各種麻酔周術期マニュアルや管理方法、手術手技、教育システムがモンゴル国内の麻酔領域・外科領域の教育指導に使用、活用される。医療機器メンテナンスシステムや適切な医療物資の使用が保健省・各病院に知識として認識される



### <R8年度の研修予定>

#### 10月 研修生受入（7名）

国立成育医療研究センターにて1ヶ月研修

#### 渡航月以外オンラインレクチャー

内視鏡外科、気道外科、腫瘍外科、新生児外科、重症症例カンファレンス、麻酔周術期管理、その他小児内科系（感染症、消化器科など）

#### 5月・9月・1月 専門家派遣（5月・1月：3名、9月：5名）

小児外科/重症症例の手術・麻酔周術期管理指導とモンゴル国内への発信